

留学だより✈

Vol. 3 Oct

皆さんこんにちは。今月も引き続き14期の大里がお送りいたします。留学ももうすぐで3ヶ月が経ちつつあります。皆さん、いかがお過ごしですか。秋の訪れを感じていらっしゃるのでしょうか。ちなみに、ここミシガン州では初雪が降りました。

【ラクロス秋シーズンの閉幕】

日本でラクロスと言ってもあまり盛んではないイメージですが、ここアメリカではメジャーなスポーツです。大体どの学校にもラクロス部があり、ところどころ家の庭にラクロスのゴールを見かけます。私は地域のクラブに入り、2ヶ月ほどプレイしました。毎週土曜日に練習があり、トータルで4回ほどトーナメントがありました。そこで出会った仲間たちとは、素晴らしい関係を築くことが出来ました！Mimiというニックネームをつけてくれて、笑顔に溢れた **Bigfoot** という良きチームの一員としてラクロスをできたことに喜びで一杯です。“Don't hurt our Mimi!” プレイ中こんなことも言ってくれました！嬉しすぎる。最後の週には **Boo Bush** (10/30) というトーナメントがあり、チームで動物をテーマに仮装してプレイしました。



日本の（少なくとも小石川の）ラクロスとの大きな違いは、フィジカル面です。パスやカットを使ったショットはごく少なく、大体1 on 1のショットで決まります。ディフェンスにお構いなくショットを打ってくるため、ゴール前のディフェンスにとってたまったものじゃありません！フィジカル面でアグレッシブな分、審判のコールも多発します。特にチェック（ボールを持っている相手のスティックを突くこと）は百発百中コールされます。（何のためのチェックなのでしょう。ルールが異なるのか審判の問題なのかは分かりませんが・・・）さらにボールがダウンした時、本来ならスティックで拾い上げるのですが、そこからサッカー状態。ラクロスのボールは蹴るものではありません！

このチームで経験したことと、春に学校で経験することとは様々な違いがあると思うので、また春シーズンが始まったら少し書こうと思います。



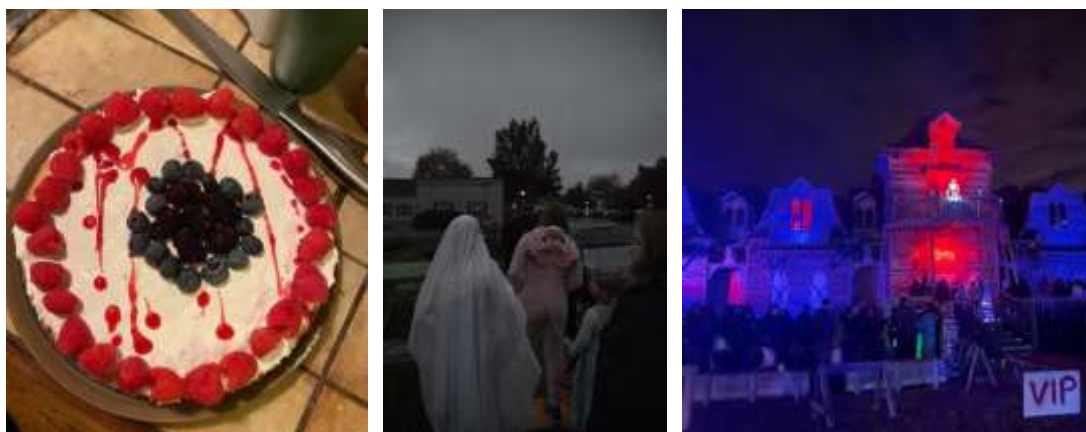
【誕生日 on Halloween】

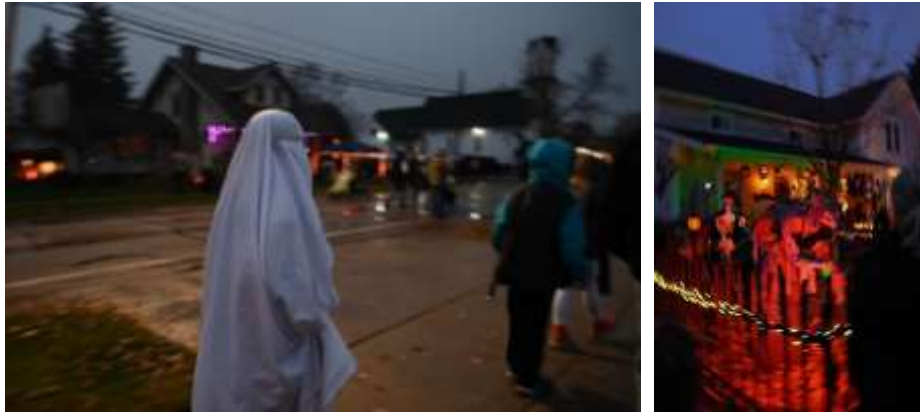
秋といえば、美味しい食べ物に気持ちの良い日差しに燃える紅葉に、そう、**Halloween!**

そしてその日は私の誕生日でもありました。学校の窓や壁やドアにデコレーションが施され、すっかりイベント気分。家族では Hay Ride と言って、パンプキン畑から一人ひとつ選びました。ルールはひとつ、「自分自身で持ち運べるもの！」くり抜いて玄関に飾り、種はオーブンで焼いてチップスにしました。農場の馬のストールを仮面でデコレーションし、Trick or Treating の準備をしました。



パンプキンカーブ 学校にもポスターが 馬のストール用の仮面作成 教室にパンプキンガイ
 誕生日は家族の中でささやかなお祝いをしてもらい、ダウンタウンで Trick or Treating をしました。日本よりも参加している家の数が多く、デコレーションも本格的でした。薄暗い空も加わり、街全体が異世界感に包まれた不思議な時間でした。





その夜のハイライトは Haunted House。いわゆるお化け屋敷ですが、Haunted Forest, Haunted Hay Ride, Haunted Maze など豊富なコンテンツ。ホストブラザーと友達と 3 人で、House と Forest に行きました。かなり演出やクルーが本格的で敷地も広く、最高に楽しみました。

【銃の現実】

ここでは少し、学校でのリアルなお話をしようと思います。皆さんもご存知の通り、アメリカでは数ヶ月前に学校での銃乱射事件が複数起きました。そのうちのひとつである Oxford は、私の学校のディストリクトのすぐ近くです。そのため、それに関する話や規制も私には身近なものです。

まず、学校のエントランスで荷物検査が行われます。（と言っても、中身のない検査ですが。）教室にはバックを持ち込めません。カメラに顔が映らないため帽子やサングラスは禁止。授業中トイレなどで教室を出る時にはパスが必要で、教室から出る生徒の数を制限しています。学校中のすべてのドアは鍵付きで、授業中に各教室の頑丈な分厚いドアには鍵がかかります。これはむしろ私を怖がらせます。安全のため、窓は1つだけ。（日光が恋しい！）日本の校舎がどれほど開放的かを思い知らされました。

先日 ALICE Drill がありました。武器（主に銃）を持った誰かが校舎内に居ることを想定した訓練です。実際に、教室のドアの前に机や椅子を積み重ねてバリケードをつくり、廊下側の壁から離れます。ナイフロックという、より頑丈なロックについての説明があり、もしその人が入ってきたら隠れるのではなく戦うのだという説明を受けました。ハサミ、パソコン、教科書など、そばにある物を投げて抵抗するのだ、と先生が指示しました。



ドアをバリケードする先生



教室を出るときに持ち出すパス

これは決して「良い」経験とは言えないかもしれませんが、アメリカに居るからこそ経験出来たことです。家族とも話し合いましたが、これがアメリカの現実というのは何とも悲しいことで、実際に体験してみると様々な考えがよぎります。

ホストマザーによると、近所の道につき、少なくとも一軒は銃を持っているのが現実だそう。彼女の家族は持っていませんでしたが、9歳の時に護身用に実弾で使い方を教わったそうです。彼女の知り合いの8歳の子どもも、もう既に習ったことがあるそうです。世界でどのように武器が利用されているかを理解する間もない子どもが銃を使ってしまう。なんと皮肉なことでしょう。

訓練といえば、他にもトルネード訓練と火災訓練がありました。さすがアメリカ、地震ではなくトルネード。ちなみに友達に地震の話をする時、みんな3.11のことを知っており、日本の地震=Tsunamiというイメージ。そして地震は全てあのレベルだと思っている人がかなりいて、軽いけど日常的なものだよ、というと凄く驚かれます。

【日常のおはなし】

こちらに来てから、何とも趣味が増えたのです。東京のようにフラッと遊びに行く場所もあまり無いので、家で過ごす時間がかなりあります。ということで、最近は編み物にハマっています。ホストマザーが編み物大好きで、教えてもらってからというもの一緒に楽しんでいます。



習った日に夜通し作ったつけ襟 作成中のアームウォーマー

ハロウィンに作ったパンプキンジャックをついに潰しました。(もう既に潰れていました。)体内の様子はかなりお見せできない姿に変わり果ててしまっていた(特に集合体恐怖症の人はやめておきましょう。)ので写真は載せませんが、外からの様子はこんな感じ。



なぜか健在な方が一名（右奥）



Squiiiiished!!



庭で投げて遊ばれた私のパンプキンの図

今月も読んでくださりありがとうございました。そろそろ秋も終わってしまいそうですが、皆様、体調に気をつけてお過ごしください。

来月は、学校の授業について詳しく掘り下げて書くつもりです。お楽しみに！

大里